

## 鳥取環境大学の改革に関する説明会（パブリックヒアリング）概要版

◆東部（1月9日（日）13:30～15:20、とりぎん文化会館第1会議室、約60人参加）

### 主な意見（発言者ごと）

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで何人か環境大学に送り込んだが、入学して良かったと言う学生と、途中でやめたいと言う学生がいた。しっかりとした教育をする保証があればどんどん入学させたい。</li> <li>・他大学の環境系の学生はどんどん増えているが環境大学はその逆となっている。</li> <li>・資格取得に力を入れる等人材育成の道筋が見えてこなかった。他大学の例を参考にもっと努力を。</li> <li>・もっと経営努力をして、十分な議論をしてから公立化しても決して遅くはないと思う。</li> <li>・環境大学は、環境ということで十分な魅力を持っている。</li> <li>・サークル活動など大学の賑わいも受験生にとっては魅力となる。魅力のあるキャンパスなので子供と山羊がふれあえることなど土日の活用法を考えてがんばってほしい。</li> <li>・大学のやっていることが伝わってこなかった。情報や状況が伝わるようPRに力を入れるべき。</li> <li>・中学・高校理科の教員免許が取得できるのはよいこと。環境大学出身者が中学、高校で教員をすることは、学生の増につながる。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者が減少傾向になった時点での経営努力がわからない。</li> <li>・公立化は大賛成。</li> <li>・今日来ている皆さんは応援団だと思う。だからこそ厳しい意見が出るのだと思う。</li> <li>・設立資金はほとんど税金である中で道義的責任、説明責任が十分に果たされていなかった。</li> <li>・どのようなプロセスで経営学部を開設することになったかわかりにくい。高校生、保護者などが経営学部を望んでいるのか。</li> <li>・ガイナレ、まんがなど県の施策が並んでいるだけでは大学の魅力は出ないのではないか。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公設民営方式で出発したのが誤りだと思っている。</li> <li>・これまで経営状況の公開が十分でなく大学の状況が県民、市民にはわからなかった。今後は経営状況の把握、周知が必要である。</li> <li>・場合によっては、私学の雄から経営のノウハウを学ぶことが大事だと思う。</li> <li>・中国地方からどれだけ学生を集められるかが大事だと思う。</li> <li>・入学定員を半分に分け、環境学部が138人となり経営学部が設置されることとなれば環境が薄まってくるので、環境大学という名前がふさわしいのか。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立化で学費が下がり多くの学生が確保できると思う。</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開学当時はユニークな大学でおもしろいと見ていた。何とか持ち直して建学当時のような勢いを取り戻してほしい。</li> <li>・定員充足率100%、志願者倍率2倍という経営試算の前提条件が達成できるという方策を示して欲しい。それが提示されれば応援をしたい。</li> </ul>
⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営見通しが達成できない場合の経営責任の所在はどこに行くのか。</li> </ul>
⑦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年4月に公立化しなければならない積極的な理由は何か。</li> </ul>
⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携の具体的方法、手法を示して欲しい。</li> </ul>

◆中部（1月10日（月、祝）10：00～11：20、中部総合事務所講堂、約20人参加）

主な意見（発言者ごと）

①	・社会に必要とされる人材の育成に重点を置くという姿勢を評価する。そのための教員集め、教員育成の仕組みも検討すべき。
②	・保護者の立場からすると就職支援に力を入れてもらいたい。
③	・教員、学生に女性が増えた場合に託児などの仕組みも考えて欲しい。 ・他県にも大学の名前を出す努力が必要
④	・計画が一般人にとっては性急に進んだ気がする。内部では長い間協議されたのかもしれないが、マスコミに出だしたのも最近のような気がする。 ・中、西部の県民にとっては県外の大学と同じ。魅力ある大学づくりを責任を持って行い、自信と誇りを持った学生を送り出して欲しい。 ・改革案に書いてあることは今までやってもよかったものである。
⑤	・農業経営など鳥取県の良さを活かす学問を検討して欲しい。
⑥	・この定員の人数規模で、これだけたくさんのもので全部できるのか。一つ二つの飛び抜けた魅力があればいいのではないかな。 ・おとなしすぎる鳥取の人間らしくない営業力を持った人間育成を行って欲しい。

◆西部（1月10日（月、祝）14：30～15：30、西部総合事務所第13会議室、約40人参加）

主な意見（発言者ごと）

①	・公立大学となるのであれば、地元高校出身者への何らかの配慮が考えられないか。 ・受験生（保護者）の立場からすると早く正式に発表をして欲しい。 ・女子高校生の娘の意見だが、環境大学という名前をこの際変えたらどうか。重みがなく、伝統に裏付けされてないイメージである。
②	・専門学科（商業科など）の高校生を生かす入試、入学後の学力向上等について検討して欲しい。
③	・経営学部を設置は大賛成。これまで多くの子ども達が県外に進学していたが、自宅から通える場所に経営学部ができれば教育費負担の軽減につながる。 ・北東アジア交流、人間形成にも力を入れて欲しい。
④	・山陰両県における就職口を開拓して欲しい。
⑤	・地域との連携強化は良いこと。フィールドワークの体験が若者の力を引き出すきっかけとなる。
⑥	・西部地域のサテライト授業や、通学が可能になるような支援が考えられないか。
⑦	・改革案は地元の人間には魅力的だと思う。県外の方にも魅力を持つものとしてメッセージを発信した方がよい。
⑧	・西部地区での環境大学の認知度は低い。 ・中学・高校理科の教員免許が取得できるのは魅力。環境大学出身者が中学、高校で教員をすることは、大学にとってもプラスになる。中学の理科の授業を環境大学が支援してもよいのでは。
⑨	・西部地域からは遠いので、アパート代の補助や、特急定期の補助なども考えられないか。
⑩	・子ども達、小・中・高の教員との連携を強化すべき。 ・大学のやっていることが伝わるよう、情報発信力を強化すべき。

※詳細は別添のとおり